下関北九州道路の早期実現に関する要望

２０２４ 年 ８ 月

下関北九州道路建設促進協議会

会 長　　倉 富 純 男

(一社)中国経済連合会・(一社)九州経済連合会関門連携委員会

委員長　　曽 我 德 將

下関北九州道路の早期実現に関する要望

２０２４年　８月
下関北九州道路建設促進協議会
関門連携委員会

下関北九州道路は、北九州市と下関市の都心部を結び、既存の関門トンネルや関門橋と一体となってネットワーク化することで、産業、経済、文化、観光などあらゆる面で日常交流の活性化に寄与する道路です。

加えて、下関北九州地域は、本州と九州の結節点として交通の要衝であるにもかかわらず、現在、関門トンネルは66年、関門橋は50年が建設から経過して老朽化が進んでおり、下関北九州道路は国土幹線道の代替機能としても極めて緊急性の高い道路となります。

2022年4月には、「重要物流道路」の計画区間に指定されたことにより、その重要性が明確に位置づけられました。

先の東日本大震災及び熊本地震においては、サプライチェーンの寸断が日本経済に大きな影響を及ぼし、一極一軸型の国土構造の脆弱性が改めて浮き彫りにされました。

本協議会の調査においても、関門トンネル及び関門橋が交通遮断された場合の経済損失額は1年間に約14兆円(間接被害のみ)という結果が出ています。

さらに、東九州自動車道の整備に伴う循環型高速交通ネットワークの実現により、人流及び物流の飛躍的な進展が予想される中、関門海峡がボトルネックとなることのないよう、リダンダンシーの観点からもその必要性は一段と高まっています。

また、2017年7月期の豪雨により北九州地域において九州縦貫自動車道及び北九州都市高速道路が災害通行止めとなり、本州と九州を結ぶ道路交通の大動脈が機能不全となりました。

これにより、市民生活や企業活動に支障をきたすこととなり、下関北九州地域における脆弱な道路ネットワークが露呈されたところです。

下関北九州道路は、下関北九州都市圏における地域間の交流や連携を強化するための都市間連絡道路であるとともに、大規模災害時等にも機能する代替性の確保されたネットワークを構築するための道路です。

加えて、コロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻している現状においても、インフラ整備は地域経済を下支えするものであり、雇用の創出をはじめ地域経済の活性化に大きく寄与するものと考えます。

今年5月、下関北九州道路のルート（素案）がまとまり、都市計画の参考となる図面が都市計画決定権者である山口県と北九州市に送付されました。

引き続き、既存道路ネットワークの課題の解消や関門トンネル及び関門橋の代替機能の確保、循環型ネットワーク形成による下関北九州地域の一体的発展、さらには、国土強靭化を進めるためにも、下関北九州道路の早期事業着手が進められるよう、特に下記の事項につきまして格別のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

記

１．　下関北九州道路の早期実現を図ること
２．　事業化に向けて、必要な調査を遅滞なく実施するとともに具体的な方策の検討を進めること
３．　これらの調査・検討に必要な予算を確保すること

以　上

２０２４ 年　８ 月

下関北九州道路建設促進協議会

会　長	倉　富　純　男	((一社)九州経済連合会会長)
副会長	曽　我　德　將	((一社)中国経済連合会副会長)
副会長	喜多村　　円	((一社)九州経済連合会副会長)
副会長	曽　我　德　將	(下関商工会議所会頭)
副会長	曽　我　德　將	(山口県商工会議所連合会会頭)
副会長	津　田　純　嗣	(北九州商工会議所会頭)
副会長	谷　川　浩　道	(福岡県商工会議所連合会会長)

(一社)中国経済連合会・(一社)九州経済連合会　関門連携委員会

委員長	曽　我　德　將	(㈱山口銀行代表取締役頭取)
副委員長	清　原　生　郎	(関門港湾建設㈱代表取締役社長)
副委員長	芹　澤　俊　介	(日産自動車九州㈱代表取締役社長)